

年度 2009 学期 後期	曜日・校時	金 4	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	生命の科学 (各トピックスから見た生命科学) Life Sciences (Overview from each topic)			
対象年次 1・2 年次	講義形態	講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人間科学科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスマワー 岡市協生/okaichi@net.nagasaki-u.ac.jp/原研放射/095-819-7102/17:00~18:00 E-mail も受け付けます				
担当教員(オムニバス科目等)	岡市協生、伊藤敬、水崎博文、中川武弥、難波泰明			
授業のねらい/授業方法 (学習指導法) /授業到達目標 <p>授業のねらい:最新のバイオテクノロジーから医療まで、幅広い領域での最新の知識を身につけ、それがどのように利用され人間の役に立っているのかを理解する。また、自分で興味を持ったトピックスについて自主的に調べてその内容を理解し、他の人に分かるように表現する力を習得する。</p> <p>授業方法:講義にプリント等を配り、詳しい内容を解説する。また、授業の終わりには小テストを行い、その日の講義の理解を確かめる。全体の講義が終わるまでに、各自興味を持ったトピックスについてのレポートを作成して、最終回にレポートの発表会を行う。</p> <p>授業到達目標:日常生活で身近に接する最新の生命科学(バイオテクノロジーから医療まで)を科学的に理解し、それらを正しく利用できるような基礎知識を身につける。また、それらの知識を他人に分かりやすく説明できるようになる。</p>				
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) <p>授業内容(概要) ワトソン・クリックの DNA 分子構造の発見から、DNA の構造、遺伝子の転写と発現調節、発生、分化、がん、さらには、最新のバイオテクノロジーや医療までを、さまざまなトピックスを取り上げながら解説する。</p> <p>第1回 DNA からバイオテクノロジーまで (岡市)  第2回 ゲノムの読解からオーダーメイド医療まで (岡市)  第3回 自分の脳を知ろう (岡市)  第4回 遺伝子転写と細胞分化 (伊藤)  第5回 遺伝子転写とクロマチン構造 (伊藤)  第6回 細胞分化と遺伝子発現 (難波)  第7回 遺伝子発現の制御1 (難波)  第8回 遺伝子発現の制御2 (論文紹介) (難波)  第9回 DNA の高次構造 (中川)  第10回 DNA 高次構造の修飾制御 (中川)  第11回 DNA 高次構造による遺伝子発現の制御 (中川)  第12回 細胞周期とがん (水崎)  第13回 生殖細胞の発生 (水崎)  第14回 性の分化 (水崎)  第15回 レポート発表会と全授業の総括 (岡市)</p>				
キーワード	バイオテクノロジー、最新医療技術			
教科書・教材・参考書	各自で興味をもったトピックスに関する本を探してください。			
成績評価の方法・基準等	毎回の小テスト 30% レポートの内容と発表態度 70%			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ /学習・教育目標				
備考(準備学習等)				